

（参考）

平成26年3月期 第1四半期連結決算概要

平成25年8月1日
三井化学株式会社
(単位：億円)

1. 損益状況

	平成25年3月期 第1四半期	平成26年3月期 第1四半期	増減	平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (8/1発表値)	
					2Q累計	通期
売上高	3,523	3,631	108	14,062	7,280	16,000
営業利益	69	93	24	43	120	280
経常利益	47	99	52	92	120	230
当期純利益	△ 22	47	69	△ 81	30	50
為替レート 円/US\$	80	99	19	83	100	98
国産ナフサ価格 円/KL	60,600	65,500	4,900	57,500	64,300	63,700

2. セグメント別 売上高・営業利益

・売上高

(単位：億円)

	平成25年3月期 第1四半期	平成26年3月期 第1四半期	増減			平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (8/1発表値)	
			計	数量差	価格差		2Q累計	通期
機能化学品	362	385	23	12	11	1,496	780	1,700
機能樹脂	331	399	68	51	17	1,347	800	1,830
ウレタン	327	361	34	7	27	1,462	830	1,860
基礎化学品	998	1,052	54	△ 98	152	4,017	1,970	4,270
石化	1,231	1,180	△ 51	△ 111	60	4,690	2,380	5,280
フィルム・シート	190	197	7	1	6	748	390	780
その他	84	57	△ 27	△ 27	-	302	130	280
合計	3,523	3,631	108	△ 165	273	14,062	7,280	16,000

・営業利益

(単位：億円)

	平成25年3月期 第1四半期	平成26年3月期 第1四半期	増減				平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (8/1発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		2Q累計	通期
機能化学品	38	39	1	3	4	△ 6	124	85	155
機能樹脂	27	38	11	14	6	△ 9	84	65	105
ウレタン	△ 2	△ 17	△ 15	△ 3	△ 2	△ 10	△ 26	△ 5	70
基礎化学品	△ 8	△ 27	△ 19	△ 9	△ 3	△ 7	△ 189	△ 70	△ 140
石化	35	71	36	△ 3	54	△ 15	77	85	160
フィルム・シート	△ 3	7	10	2	△ 1	9	△ 33	0	△ 20
その他	0	△ 3	△ 3	-	-	△ 3	△ 6	0	5
全社費用等	△ 18	△ 15	3	-	-	3	12	△ 40	△ 55
合計	69	93	24	4	58	△ 38	43	120	280

当第1四半期連結会計期間より、機能製品群への事業ポートフォリオの変革に向けて、事業セグメントの順序を変更しております。

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成25年3月期 第1四半期	平成26年3月期 第1四半期	増減	平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (8/1発表値)	
					2Q累計	通期
資産売却益	1	0	△ 1	17	-	-
環境対策引当金戻入額	-	-	-	33	-	-
固定資産処分・売却損	△ 2	△ 5	△ 3	△ 45	△ 15	△ 50
減損損失	-	-	-	△ 56	-	-
関連事業損失	-	-	-	△ 41	-	-
投資有価証券評価損	△ 1	-	1	△ 8	-	-
受取保険金	-	-	-	55	-	-
爆発火災事故に係る損失	△ 35	-	35	△ 49	-	-
その他	-	△ 15	△ 15	△ 6	△ 15	△ 30
合計	△ 37	△ 20	17	△ 100	△ 30	△ 80

4. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H25/3末	H25/6末	増減		H25/3末	H25/6末	増減
流動資産	7,154	7,325	171	有利子負債	5,072	5,883	811
有形固定資産	4,466	4,548	82	その他負債	4,019	3,923	△ 96
無形固定資産	146	648	502	自己資本	3,768	3,881	113
投資等	1,614	1,684	70	少数株主持分	521	518	△ 3
資産計	13,380	14,205	825	負債純資産計	13,380	14,205	825
				(D/E)△	(1.35)	(1.52)	(0.17)

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成25年3月期 第1四半期	平成26年3月期 第1四半期	増減	平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (5/10発表値)	
					2Q累計	通期
営業キャッシュ・フロー	△ 218	△ 29	189	185	110	470
投資キャッシュ・フロー (フリーキャッシュ・フロー)	△ 155 (△ 373)	△ 816 (△ 845)	△ 661 (△ 472)	△ 581 (△ 396)	△ 830 (△ 720)	△ 1,170 (△ 700)
財務キャッシュ・フロー	58	747	689	273	640	620
その他	7	10	3	27	-	-
現預金等増減	△ 308	△ 88	220	△ 96	△ 80	△ 80
現預金等残高	238	362	124	450	370	370

6. 当期のトピックス

- ・ Heraeus Dental事業 : Heraeus Holding GmbH(ドイツ)の歯科材料事業を譲受(平成25年6月)
- ・ DENTCA社(米国) : CAD/CAMシステムを用いた入れ歯(デンチャー)の開発・製造・販売会社の株式を増資引受により取得(平成25年6月)



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場会社名 三井化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 稔一

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長

(氏名) 小澤 敏

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	363,089	3.1	9,302	34.0	9,858	110.6	4,727	—
25年3月期第1四半期	352,271	△8.9	6,942	△68.4	4,680	△79.9	△2,162	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 16,124百万円 (371.2%) 25年3月期第1四半期 3,422百万円 (△81.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	4.72	—
25年3月期第1四半期	△2.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	1,420,524	439,942	27.3	387.47
25年3月期	1,337,995	428,914	28.2	376.18

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 388,075百万円 25年3月期 376,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	728,000	7.0	12,000	711.4	12,000	—	3,000	—	3.00
通期	1,600,000	13.8	28,000	552.7	23,000	149.8	5,000	—	4.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	1,022,020,076 株	25年3月期	1,022,020,076 株
26年3月期1Q	20,452,780 株	25年3月期	20,419,265 株
26年3月期1Q	1,001,576,308 株	25年3月期1Q	1,001,764,795 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成25年8月1日に、機関投資家・アナリスト向けネットコンファレンスを開催する予定です。説明会の音声を説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 連結の範囲の変更	12
(7) 企業結合等関係	13
4. 補足情報	15
企業集団の状況	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般的状況)

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日の3か月間。以下、「当四半期」といいます。）における事業環境は、依然として、中国や新興国の景気拡大のテンポが鈍化しているものの、日本国内においては、政府の経済政策への期待感による円安・株高を背景に、個人消費や企業の生産・輸出が回復傾向にあり、景気の持ち直し基調が継続しました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	3,631	93	99	47
前年同四半期	3,523	69	47	△ 22
増減額	108	24	52	69
増減率(%)	3.1%	34.0%	110.6%	—

売上高は、前年同四半期に比べ108億円増(3.1%増)の3,631億円となりました。これは、主に石化事業及び基礎化学品事業において、販売数量減少の影響が165億円あったものの、ナフサなどの原燃料価格上昇による販売価格の改定や円安による販売価格の改善の影響が273億円あったことなどによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ24億円増(34.0%増)の93億円となりました。これは、主に石化事業の取引条件が改善したことや、機能樹脂事業における販売数量が増加したことなどによるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ52億円増(110.6%増)の99億円となりました。これは、営業利益の増加に加え、為替差損益の改善などにより、営業外損益が前年同四半期に比べ28億円改善したことによるものです。

特別損益は、前年同四半期に比べ17億円改善の20億円の損失となりました。これは、昨年度の岩国大竹工場の爆発火災事故に係る損失の影響がなくなったことなどによるものです。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ69億円増(678.1%増)の79億円となりました。

四半期純損益は、法人税等及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期に比べ69億円改善の47億円の利益となり、1株当たり四半期純利益金額は4.72円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

なお、当四半期より、機能製品群への事業ポートフォリオの変革に向けて、事業セグメントの順序を変更しております。

(機能化学品)

機能化学品セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

ヘルスケア材料は、メガネレンズ用材料等の海外需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

衛生材料は、国内外の紙おむつ需要が依然旺盛であることにより、売上高が好調に推移しました。

特殊ガスは、半導体産業を中心とする需要低迷の影響を受け、売上高が低調に推移しました。また、**化成品**は円安効果により、売上高が堅調に推移しました。

触媒は、岩国大竹工場事故による生産停止の影響から脱したことにより、売上高が好調に推移しました。

農業化学品は、海外需要の拡大等により、売上高が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 23 億円増の 385 億円、売上高全体に占める割合は 11%となりました。また、営業利益は、輸出販売の拡大等により、前年同四半期に比べ 1 億円増の 39 億円となりました。

(機能樹脂)

機能樹脂セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、円安効果及び北米を中心とする自動車用途の需要拡大に的確に対応したことにより、売上高が好調に推移しました。

機能性コンパウンド製品は、円安効果及び北米・アジアを中心とする自動車用途の需要拡大に的確に対応したことにより、売上高が好調に推移しました。

特殊ポリオレフィンは、岩国大竹工場事故の影響からの回復、スマートフォン向け販売の拡大及び円安効果により、売上高が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 68 億円増の 399 億円、売上高全体に占める割合は 11%となりました。また、営業利益は、需要拡大への的確な対応及び円安効果等により、前年同四半期に比べ 11 億円増の 38 億円となりました。

(ウレタン)

ウレタンセグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

ポリウレタン材料は、海外での販売数量増加及び円安効果により、売上高が好調に推移しました。

コーティング材料は、海外での塗料用樹脂・熱融着包装材料の販売数量増加及び円安効果により、売上高が堅調に推移しました。

接着材料は、海外での包装用接着剤の堅調な需要拡大及び円安効果により、売上高が好調に推移しました。

成形材料は、弾性舗装材及び住設用樹脂の需要低迷の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 34 億円増の 361 億円、売上高全体に占める割合は 10%となりました。一方、営業損失は、原燃料価格上昇及びポリウレタン材料の海外市況下落の影響を受け、前年同四半期に比べ 15 億円増の 17 億円の損失となりました。

(基礎化学品)

基礎化学品セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

フェノールは、需要低迷により販売数量が減少したものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が増加しました。

ビスフェノールAは、主要用途であるポリカーボネート樹脂及びエポキシ樹脂向けの需要が低迷したものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が増加しました。

高純度テレフタル酸は、中国の景気拡大の鈍化等の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。

ペット樹脂 (ポリエチレン テレフタレート)は、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇及び円安効果により、売上高が増加しました。

エチレンオキサイド及びその誘導品は、需要回復に伴う販売数量増加により、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 54 億円増の 1,052 億円、売上高全体に占める割合は 29%となりました。一方、営業損失は、特にフェノール、P T A の取引条件が引き続き厳しい状況であり、安価在庫の影響やコスト削減努力等があったものの、前年同四半期に比べ 19 億円増の 27 億円の損失となりました。

(石化)

石化セグメントは、全体として売上高が減少しました。

エチレン及びプロピレンは、生産量がいずれも前年同四半期並みでしたが、市況低迷により、その他製品の売上高が減少しました。

ポリエチレンは、販売数量の減少の影響を受けたものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇に

より、売上高は前年同四半期並みとなりました。

ポリプロピレンは、国内で販売数量が減少したものの、海外で販売数量が増加したことにより、売上高が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ51億円減の1,180億円、売上高全体に占める割合は32%となりました。一方、営業利益は、交易条件の改善により、前年同四半期に比べ36億円増の71億円となりました。

(フィルム・シート)

フィルム・シートセグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

包装フィルムは、今年度初めから販売価格を改定したことにより、売上高が堅調に推移しました。

電子・光学用フィルムは、高付加価値分野における需要拡大及び円安効果により、売上高が堅調に推移しました。

太陽電池用シートは、太陽電池封止材市場の縮小により販売数量が減少したものの、新製品の販路開拓に努めたことにより、売上高が全体として好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ7億円増の197億円、売上高全体に占める割合は5%となりました。また、営業損益は、高付加価値製品の拡販及びコスト削減努力により、前年同四半期に比べ10億円改善の7億円の利益となりました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ27億円減の57億円、売上高全体に占める割合は2%となりました。また、営業損益は、前年同四半期に比べ3億円減の3億円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ825億円増の1兆4,205億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ715億円増の9,806億円となりました。また、**有利子負債**は811億円増の5,883億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ3.5ポイント増の41.4%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ110億円増の4,399億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ0.9ポイント減の27.3%となりました。

以上により、当四半期末の**有利子負債／自己資本比率 (D/Eレシオ)**は、前期末に比べ0.17ポイント増加の1.52となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(第2四半期連結累計期間業績予想の修正とその理由)

平成25年5月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、以下のとおり修正を行っております。

第2四半期連結累計期間の業績予想の修正にあたり、為替レートは4～9月100円/\$、国産ナフサ価格の業績につきましては、4～9月64,300円/k1を前提としております。

この結果、販売数量の増加及び円安影響等による交易条件の改善により、営業利益は前回発表予想数値から増加する見込みです。経常利益及び四半期純利益についても、営業利益の増加により、前回発表予想数値から増加する見込みです。

なお、通期の連結業績は、現段階では不確定な要素があるため、前回発表予想数値を見直しておりません。

平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）
 （単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	7,450	50	30	△ 30	△ 3.00
今 回 修 正 予 想 (B)	7,280	120	120	30	3.00
増 減 額 (B-A)	△ 170	70	90	60	
増 減 率 (%)	△ 2.3	140.0	300.0	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	6,805	15	△ 25	△ 153	△ 15.26

(セグメント別の見通し)

第 2 四半期連結累計期間のセグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高								合 計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	780	830	890	2,080	2,380	380	110	—	7,450
今回修正 予想	780	800	830	1,970	2,380	390	130	—	7,280
増減額	—	△30	△60	△110	—	10	20	—	△170

(単位：億円)

	営 業 利 益								合 計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	65	45	25	△90	45	△10	0	△30	50
今回修正 予想	85	65	△5	△70	85	0	△10	△30	120
増減額	20	20	△30	20	40	10	△10	—	70

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,514	37,196
受取手形及び売掛金	298,411	303,555
たな卸資産	284,643	295,675
繰延税金資産	11,264	11,567
未収入金	66,108	72,595
その他	9,035	12,549
貸倒引当金	△579	△572
流動資産合計	715,396	732,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	318,872	321,970
減価償却累計額	△212,415	△214,446
建物及び構築物（純額）	106,457	107,524
機械装置及び運搬具	1,064,514	1,078,085
減価償却累計額	△920,466	△930,466
機械装置及び運搬具（純額）	144,048	147,619
土地	164,190	164,342
建設仮勘定	22,888	26,034
その他	64,600	65,461
減価償却累計額	△55,546	△56,215
その他（純額）	9,054	9,246
有形固定資産合計	446,637	454,765
無形固定資産		
のれん	3,935	50,539
その他	10,700	14,306
無形固定資産合計	14,635	64,845
投資その他の資産		
投資有価証券	98,269	103,700
繰延税金資産	4,129	4,205
その他	59,791	61,332
貸倒引当金	△862	△888
投資その他の資産合計	161,327	168,349
固定資産合計	622,599	687,959
資産合計	1,337,995	1,420,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	215,666	203,517
短期借入金	106,685	172,406
1年内返済予定の長期借入金	54,011	41,847
コマーシャル・ペーパー	15,000	29,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	2,963	3,529
役員賞与引当金	23	17
修繕引当金	10,232	10,430
その他	79,328	74,914
流動負債合計	493,908	545,660
固定負債		
社債	97,000	87,000
長期借入金	223,956	247,546
繰延税金負債	16,963	18,001
退職給付引当金	50,855	54,975
役員退職慰労引当金	261	207
修繕引当金	3,579	4,218
環境対策引当金	3,028	2,782
資産除去債務	2,589	2,645
その他	16,942	17,548
固定負債合計	415,173	434,922
負債合計	909,081	980,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	91,065
利益剰余金	180,451	182,170
自己株式	△14,264	△14,268
株主資本合計	382,305	384,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,862	14,935
繰延ヘッジ損益	△250	△210
為替換算調整勘定	△18,138	△10,670
その他の包括利益累計額合計	△5,526	4,055
少数株主持分	52,135	51,867
純資産合計	428,914	439,942
負債純資産合計	1,337,995	1,420,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	352,271	363,089
売上原価	305,121	312,623
売上総利益	47,150	50,466
販売費及び一般管理費	40,208	41,164
営業利益	6,942	9,302
営業外収益		
受取利息	55	36
受取配当金	634	640
持分法による投資利益	825	751
為替差益	—	1,214
その他	828	977
営業外収益合計	2,342	3,618
営業外費用		
支払利息	1,675	1,664
為替差損	1,844	—
その他	1,085	1,398
営業外費用合計	4,604	3,062
経常利益	4,680	9,858
特別利益		
固定資産売却益	132	5
特別利益合計	132	5
特別損失		
固定資産処分損	230	418
固定資産売却損	13	1
投資有価証券評価損	62	—
事業撤退損	—	1,523
爆発火災事故に係る損失	3,489	—
特別損失合計	3,794	1,942
税金等調整前四半期純利益	1,018	7,921
法人税等	2,061	2,300
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,043	5,621
少数株主利益	1,119	894
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,162	4,727

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,043	5,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,065	2,170
繰延ヘッジ損益	68	75
為替換算調整勘定	6,236	6,291
持分法適用会社に対する持分相当額	1,226	1,967
その他の包括利益合計	4,465	10,503
四半期包括利益	3,422	16,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	505	14,308
少数株主に係る四半期包括利益	2,917	1,816

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

当第1四半期連結会計期間より、機能製品群への事業ポートフォリオの変革に向けて、事業セグメントの順序を変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間の報告セグメントの順序を変更しております。

前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	計		
売上高									
外部顧客への売上高	36,217	33,080	32,683	99,759	123,080	18,974	343,793	8,478	352,271
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,201	4,338	951	6,426	36,963	466	50,345	14,845	65,190
計	37,418	37,418	33,634	106,185	160,043	19,440	394,138	23,323	417,461
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,775	2,664	△230	△767	3,529	△278	8,693	7	8,700

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,693
「その他」の区分の利益	7
セグメント間取引消去等	△1,369
全社費用(注)	△389
四半期連結損益計算書の営業利益	6,942

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費等であります。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注1)	合計
	機能 化学品 (注2)	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	計		
売上高									
外部顧客への売上高	38,543	39,921	36,117	105,165	117,953	19,694	357,393	5,696	363,089
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,052	4,455	748	5,884	40,526	732	53,397	14,634	68,031
計	39,595	44,376	36,865	111,049	158,479	20,426	410,790	20,330	431,120
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,926	3,747	△1,669	△2,692	7,122	692	11,126	△363	10,763

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 当第1四半期連結累計期間において、平成25年6月30日付けで、Heraeus Kulzer Dental 事業の譲受を完了したことに伴い、「機能化学品」セグメントの資産が80,174百万円増加しております。なお、資産の増加額は、入手可能な合理的な情報に基づき暫定的に算定した金額であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	11,126
「その他」の区分の損失(△)	△363
セグメント間取引消去等	△156
全社費用等(注)	△1,305
四半期連結損益計算書の営業利益	9,302

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント測定方法の一部変更)

平成25年度より、新事業・新製品開発テーマの創出と確実な事業化を図るため、研究開発体制を見直しております。それに伴い、新事業に係る研究開発費等については、従来、各報告セグメントに配賦しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、全社費用等に計上することに変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は、「機能化学品」については210百万円、「機能樹脂」については147百万円、「石化」については198百万円、「フィルム・シート」については100百万円、それぞれ増加しております。また、セグメント損失は、「ウレタン」については115百万円、「基礎化学品」については148百万円、それぞれ減少しております。一方、上記報告セグメントへの配賦費用の減少に伴い、全社費用等は918百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機能化学品」において、Heraeus Kulzer Dental 事業の譲受をしたことに伴い、のれんを計上したことにより、同セグメントののれんの金額が前連結会計年度末に比べて、46,760百万円増加しています。

なお、のれんの増加額は、入手可能な合理的な情報に基づき暫定的に算定した金額であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 連結の範囲の変更

当第1四半期連結会計期間より、Heraeus Kulzer Dental 事業の譲受をしたことに伴い、エムシーデンタルホールディングスインターナショナル合同会社、他 22 社を連結の範囲に含めております。

(7) 企業結合等関係

取得による企業結合

①事業譲受の概要

1) 相手企業の名称及び取得した事業の名称・内容

相手企業の名称 Heraeus Holding GmbH
事業の名称 Heraeus Kulzer Dental
事業の内容 歯の修復材等の製造及び販売

2) 事業譲受を行った主な理由

当社グループは、歯科材料事業をコア事業として拡大・成長させていくためのグローバルな事業基盤を獲得でき、今後成長が見込まれる海外歯科材料市場への展開加速が可能となります。加えて、当社の豊富なR&D人材とポリマー技術等の化学領域の知見を活かし、Heraeus Kulzer Dental の持つ製品開発力とあわせ、顧客ニーズに対応した新たな製品の開発が可能となることが期待されます。

3) 企業結合日

平成 25 年 6 月 30 日

4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式及び資産の取得

5) 持分取得後の企業の形態及び名称

当社 100%出資の持株会社(エムシーデンタルホールディングスインターナショナル合同会社(日本) 及び MC Dental Holdings Europe GmbH (ドイツ)) を設立し、両社が事業を取得しております。

6) 取得した議決権比率

100%

②当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる譲受事業の業績の期間

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書は、Heraeus Kulzer Dental の業績を含んでおりません。

③被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価 60,595 百万円
取得に要した費用 465 百万円
取得原価 61,060 百万円

但し、現在、売買契約に基づき株式取得時における運転資本等の変動額を精査している最中のため、当第1四半期連結会計期間末においては、取得金額は確定しておらず、上記は暫定的な金額であります。

④発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

1) 発生したのれん金額 46,760 百万円

2) 発生原因

取得原価が、取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

3) 償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却

- 4) 当第1四半期連結会計期間末においては、取得原価の確定及び配分が未了であり、また取得した資産及び引き受けた負債も暫定的に算定したものであるため、発生したのれんの金額は暫定的に算出された金額であります。

4.補足情報

企業集団の状況

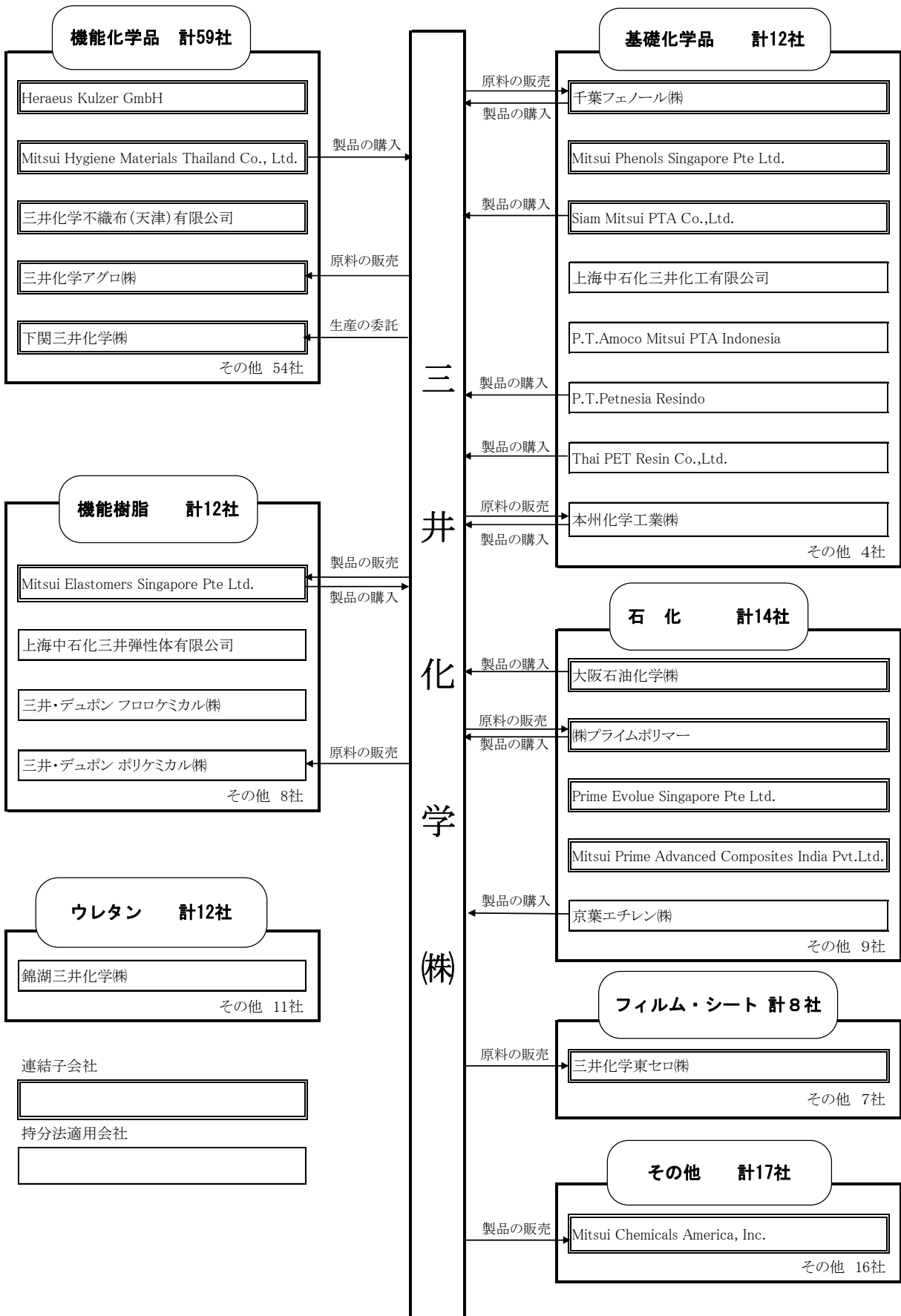
当社グループは、当社、子会社 109 社及び関連会社 28 社で構成され、機能化学品、機能樹脂、ウレタン、基礎化学品、石化及びフィルム・シートの製造・販売を主な事業内容とし、さらに、各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

当社は子会社のうち 99 社を連結し、清算状態等の 3 社を除く子会社及び関連会社 35 社に持分法を適用しております。

各セグメントにおける主要製品と主な関係会社は次のとおりです。

セグメント	主要製品	主な関係会社
機能化学品	ヘルスケア材料、衛生材料、歯科材料、特殊ガス、化成品、触媒、農業化学品	Heraeus Kulzer GmbH、Mitsui Hygiene Materials Thailand Co.,Ltd.、三井化学不織布(天津)有限公司、三井化学アグロ(株)、下関三井化学(株) その他 54 社 (計 59 社)
機能樹脂	エラストマー、機能性コンパウンド製品、特殊ポリオレフィン	Mitsui Elastomers Singapore Pte Ltd.、上海中石化三井弾性体有限公司、三井・デュポンフロロケミカル(株)、三井・デュポンポリケミカル(株) その他 8 社 (計 12 社)
ウレタン	ポリウレタン材料、コーティング材料、接着材料、成形材料	錦湖三井化学(株) その他 11 社 (計 12 社)
基礎化学品	フェノール、ビスフェノールA、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、エチレンオキサイド	千葉フェノール(株)、Mitsui Phenols Singapore Pte Ltd.、Siam Mitsui PTA Co.,Ltd.、上海中石化三井化工有限公司、P. T. Amoco Mitsui PTA Indonesia、P. T. Petnesia Resindo、Thai PET Resin Co.,Ltd.、本州化学工業(株) その他 4 社 (計 12 社)
石化	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリプロピレンコンパウンド	大阪石油化学(株)、(株)プライムポリマー、Prime Evolve Singapore Pte Ltd.、Mitsui Prime Advanced Composites India Pvt. Ltd.、京葉エチレン(株) その他 9 社 (計 14 社)
フィルム・シート	包装フィルム、電子・光学用フィルム、太陽電池用シート	三井化学東セロ(株) その他 7 社 (計 8 社)
その他	その他関連事業等	Mitsui Chemicals America, Inc. その他 16 社 (計 17 社)

以上の企業集団の状況に関する事業系統図は次のとおりです。



なお、一部の会社は複数のセグメントに跨っております。